

＜今日の説教のポイント マタイによる福音書 22 章 41～46 節＞

①イエス様と新興宗教の教祖との違いは？

新興宗教の多くの教祖は自分は神だ、救い主だと言います。イエス様もそういった教祖の類だと思っている人もいるでしょう。どこが違うのでしょうか？ 聖書で「救い主」と訳されている語は、旧約聖書のヘブル語ではメシア、新約聖書のギリシア語ではキリストで、元の意味は「油注がれた者」で王を指していました。それは約3千年前、神様が選ばれた民イスラエルのダビデ王に、「あなたの身から出る子孫に継がせ、その王国を揺るぎないものとする」(サムエル記下 7:12) と告げられた時から始まる長い歴史を持つのです。なんの歴史的背景も無しに、突然、「自分は神だ」と言う人がぼっと現れて語り出すのとは違うのです。

②イエス様はダビデ王の子(子孫)であると共に、ダビデ王を超えた王！

この箇所で行った出来事もその歴史が関係しています。イスラエルの人々はいずれ現れる救い主を「ダビデの子」と呼ぶようになっていました。しかしイエス様は、神様が送って下さる救い主は、単にダビデ王のようにイスラエルの国を再び治める強い王というだけではなく、ダビデ王以上の王であることを示されたのです。

③私たちの罪の赦しのために十字架にかかって下さったイエス様！

ではイエス様のどういう点がダビデ王を超えているのでしょうか？ それを知るために、私たちは神様が与えて下さった聖書を読むのです。ここにイエス様が語られたこと、為されたこと、その意味が記されているからです。神様が与えて下さった、神様を知る方法がこれだからです。かつてキリスト教国ドイツの人々がヒットラーの虜となった時に、「私たちキリスト者が聞き従うべき方はイエス・キリストだ」と主張して抵抗を続けた信仰者たちがいました。ヒットラーとイエス・キリストの違いは何でしょうか？ 一言で言うと、ヒットラーは自分のために人々の命を捧げさせたのに対して、イエス・キリストは人々のために自分が命を捧げた違いです。このヒットラーに抗するために宣言された『バルメン宣言』(1934年)の第一項には、「私は道であり、真理であり、命である」(ヨハネ 14:6) というイエス様の言葉が引用されています。